

株式会社白洋舎

一般型

設備投資

洗濯技術（加齢臭除去）を活用した高齢者対応サービスの受注拡大

加齢臭除去技術を国立大学法人香川大学と共同研究で開発し、実用化。今後さらに増加することが見込まれている高齢者の衣類や寝具、施設従業員のユニフォームなどを、効率的に洗浄できるようにするため、高齢者専用の洗濯設備を導入し、需要の拡大に対応した。

Q 取組の背景

Background of efforts

弊社は、県下に70店舗超を展開する大手クリーニング会社である。昭和4年の創業以来85年にわたり、衣生活の衛生面のさらなる向上を支援することを目指し、衣類文化と豊かな暮らしに貢献することを目指した企業である。また創業当時から現在まで御用聞き部門(宅配クリーニング)の伝統を守り続けており、この営業形態は高齢化社会において、他社と差別化のできる部門として注目されている。

香川県の高齢化は年々進んでおり、現在65才以上の高齢化比率は26%を超え全国平均値の23%より高く推移している。このことは全国平均より3～5年程早いスピードで高齢化が進んでいることになる。また今後20年間で高齢化比率は35%近くまで達すると見込まれている。加速化する高齢化社会のなかで、洗濯業界として、高齢者の特有な臭いである加齢臭（ノネナル臭）の除去に着目をした。これからの洗濯業の果たす役割も単に衣類の洗浄作業のみならず、多様化や個性化するニーズに対応する必要がある。

事業の実施内容

Implementation content

加齢臭は、年齢が上昇するにつれて発生する中高年特有の体臭のことであり、この臭いの正体は「ノネナル」という物質である。その名称は2000年に資生堂の研究チームにより中高年特有の体臭の原因が不飽和アルデヒドであることが発見され、この体臭を「加齢臭」と命名したもの。

加齢臭は、特に老人の部屋や老人ホームに入ると気づかれる臭いである。この独特の臭いは、家族や周辺の人を不快に感じさせることが多くお悩みの方も多い。一般の洗濯では十分な除去ができていないことがその理由である。当社の取引先である老人施設で独自にヒアリングした結果、約80%の方が洗濯後の衣類

や肌着の臭いが気になるとの回答が寄せられている。そこで、本事業においては、

- 1) 市場調査・得意先へのヒアリング
- 2) 洗浄機・高速乾燥機・その他プレス機の導入先の見学
- 3) 現場フィードバック及び営業プロモーション活動
- 4) 洗浄機・乾燥機・プレス機設置稼働

の手順で実施し、加齢臭除去技術の実用化をめざす。



【図1】[全自動水洗・脱水機]肌着・下着・白衣対象品の洗浄を大量処理可能(200g程度(肌着1枚換算)の被洗物であれば、一度に130～140枚程度の洗浄が可能)



【図2】[ドライクリーニング機]溶剤冷却装置付のドライクリーニング機導入。水洗いに適さない被洗物が対象

事業の成果

Achievement

本事業において導入した設備(水洗脱水機、蒸気乾燥器、石油ドライ機、高速立体包装機、白衣用ダブルボディプレス機、白衣用ダブルスリーブプレス機、白衣用ダブルカラーカフス機)を稼働させ、洗浄点数・各プレス(仕上げ)機の加工点数、稼働時間の記録を行ったところ、1時間当たり生産性が上がったことが確認された。仕上がり状態の検証を現場スタッフがを行い、取引先からのご意見を頂きながら改善をした。

今後の展望

Future prospects

生活の困りごとや日常生活に助けが必要である高齢者に対し、弊社は国立大学法人香川大学と共同で研究開発した独自の加齢臭除去技術を活用し、高齢者宅や高齢者施設から受注の見込める私物洗濯物(肌着・寝間着・寝具類・タオル等)や衛生面の向上が必要な白衣等のユニフォーム受注拡大の為にビジネスモデルを構築する。生活面で不自由な暮らしをされている高齢者宅へ当社の得意な営業分野である宅配クリーニングを最大限活用し、暮らしを支える企業として地域密着型の事業を展開し事業拡大を図る。この独自技術を活用しながら、新たに導入した高齢者専用設備と当社の宅配クリーニングを組み合わせることは、競合他社との大きな差別化となり、競争の優位性が実現するものと考えている。また、現在業務用で開発された加齢臭除去剤だが、一般顧客からの要望もあり、一般小売品としての販売開発も香川大学と共同で進めていく計画である。

トピックス



加齢臭(ノネナル臭)は、通常の洗濯では除去できませんでした。「ノネカット」は香川大学工学部との共同研究により、科学的・効率的に、加齢臭をほぼ除去することを可能にした弊社独自の新しい洗濯技術です。これにより、衣服等に付いたノネナルを95%以上除去できます。

COMPANY PROFILE



株式会社白洋舎

所在地 〒761-8031
香川県高松市郷東町135-1

TEL 087-881-4341

設立 1929年2月

代表者 鶴川 俊英

業種 クリーニング業

従業員数 80名

URL <http://www.hakuyosha-gp.co.jp/>

事業内容

ドライクリーニング及びランドリークリーニング / 布・カーペットのクリーニング / 着物・和服クリーニング / 皮革クリーニング / カーテンクリーニング / 椅子クリーニング / 洋服のリフォーム / 靴・バッグのクリーニング (色補正及びリペア) / 鍵の複製 / 京しめき及び特殊しめき / 特殊加工(防炎加工・シロセツ加工・バイオ加工・スーパーホワイト加工・スーパーフレッシュ加工・防虫加工・消臭加工・ミソ加工・撥水加工 他)



代表取締役社長 鶴川 俊英

消臭技術を活用し、高齢化社会の潜在需要を掘り起こします。

個人宅へ訪問して注文品をお預かりし、クリーニングの終わった品物をお届けするという宅配システムは、昭和4年の創業時以来、弊社の原点です。現在でも「営業一課(宅配営業部門)」として、このような形態のお取引は健在です。高齢化の進むなか、生活面で不自由な暮らしをされている高齢者宅等、そのニーズは再び高まりつつあります。今後、日常の家事(洗濯)等が出来ない社会的な支援を必要とする高齢者が増加していきます。

このような社会環境の変化のもと、成長が見込まれる介護・福祉・健康の分野で私どもが貢献でき、かつ他社との差別化や市場の優位性が獲得できる事業として独自に開発したのが、今回の洗濯技術(加齢臭除去)およびその実用化です。弊社の得意な営業分野である宅配クリーニングを最大限活用し、暮らしを支える企業として地域密着型の事業を展開し、さらなる事業の拡大を図ってまいります。